



図書だより

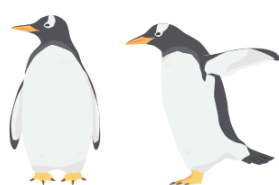


令和3年7月発行 白根巨摩中学校図書館

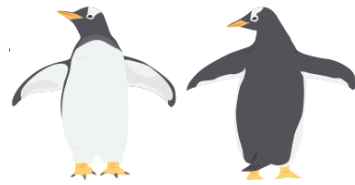
図書館キャラクター
ほんのすけ

1学期もいよいよ締めくくりの時がやってきました。毎日の授業、部活、委員会活動、さまざまな場面でこの1学期中にそれぞれがステップアップしたのではないのでしょうか。

図書館も学期中、たくさんの生徒が利用してくれてうれしく思います。ぜひ、夏休み中も読書の時間をとって、自分の好きな作家さんの本を読んだり、長編小説や読んだことのない本のジャンルに挑戦してみたりと、自分の世界を広げてみてください。



夏休み前の図書館の利用



7月9日までに借りた本は20日までに返却してください！

★夏休みの前の特別貸出★

7月12日（月）～7月20日（火）

ひとり最大10冊まで借りられます

返却日は

8月25日（水）です

夏休み中の図書館開館日

7月27日（火）

★貸出冊数★

一人 10冊

8月4日（水）

★開館時間★

8月12日（木）

9時～12時

この日以外でも司書
がいるときはいつで
も貸出OKです！





第67回

読んで世界を広げる、書いて世界をつくる。

青少年読書感想文全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社 後援／内閣府・文部科学省 協賛／サントリーホールディングス株式会社

課題図書



夏休みの青少年読書感想文の課題図書を紹介します。課題図書は図書館にあります。

読書感想文に何を读もうか、迷っている人に向けて、全国図書館協議会がすすめる本など、この夏に読んでほしい本を展示します。ぜひ、図書館で手にとってみてください。



『with you』

濱野京子
くもん出版

悠人が夜の公園で出会った少女・朱音は、母親の介護に携わる“ヤングケアラー”だった。彼女の力になりたいと思うようになる悠人だが――。これは恋なのか、それとも別の感情なのか？「誰かを大切に思うこと」を描く。

『アーニャはきっと来る。』

マイケル・モーパーゴ
評論社

第二次世界大戦中のフランス山間部の村。羊飼いの少年ジョーは、ユダヤ人の子どもたちの亡命に手を貸すことになる。ドイツ兵が駐留する中、村人が心をつなげて、命を守るために立ち上がる。映画にもなった感動作。

『牧野富太郎 日本植物学の父』

清水洋美
汐文社

日本全国の野山を駆け巡り、集めた標本は40万点。数多くの新種を発見し、命名した植物は1500種類以上。草木を愛し、愛された、日本が誇る植物学者・牧野富太郎の波瀾万丈な94年の人生を描く。

感想文・作文おたすけ本

感想文や作文を書く前に、文章を書くコツを学んでみませんか？



『放課後の文章教室』

小手鞠るい

若い読者からの「文章について」「書くことについて」の質問に答えます。ツイッター・メールから読書感想文まで、書くことの楽しさとコツを教えます。



『めんどくさがりなきみのための文章教室』

はやみねかおる

めんどくさがりな人ほど、文章の才能がある――。中学2年生の男の子を主人公にしたストーリーで、「何を書いていいかわからない」を一瞬で解決する方法や、「うまい文章」をスラスラ書く方法などを教えます。

出版社 夏のおすすめ本



出版社から出ているおすすめ本の冊子の中から、読みたい本を見つけてみるのもいいですね！この中から巨摩中にある本は展示していくので、ぜひ図書館でチェックしてみてください！

